令和４年夏の記録的な暑さ

～今後、更に深刻化するおそれ～

環境省

◆東京都心で、6月末～７月初にかけ
９日連続で猛暑日（観測史上最長）

	気温（℃）
6/25	35.4
6/26	36.2
6/27	35.7
6/28	35.1
6/29	35.4
6/30	36.4
7/1	37.0
7/2	35.2
7/3	35.3

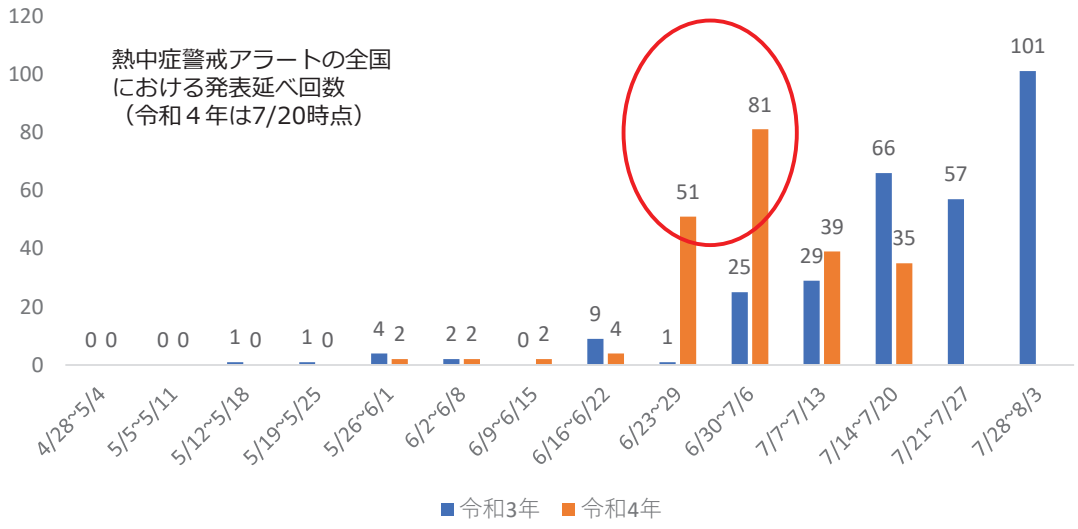
※気象庁HPより作成

◆ ６月の40℃超え（観測史上初）
（上位10番のうち９つが2022年に発生）

順位	都道府県	地点	気温	日時
1	群馬県	伊勢崎	40.2	2022/6/25
2	埼玉県	鳩山	39.9	2022/6/30
3	埼玉県	寄居	39.8	2022/6/30
〃	栃木県	佐野	39.8	2022/6/27
〃	群馬県	桐生	39.8	2022/6/25
〃	埼玉県	熊谷	39.8	2011/6/24
7	群馬県	前橋	39.5	2022/6/25
8	静岡県	天竜	39.4	2022/6/30
〃	岐阜県	多治見	39.4	2022/6/30
〃	群馬県	館林	39.4	2022/6/25

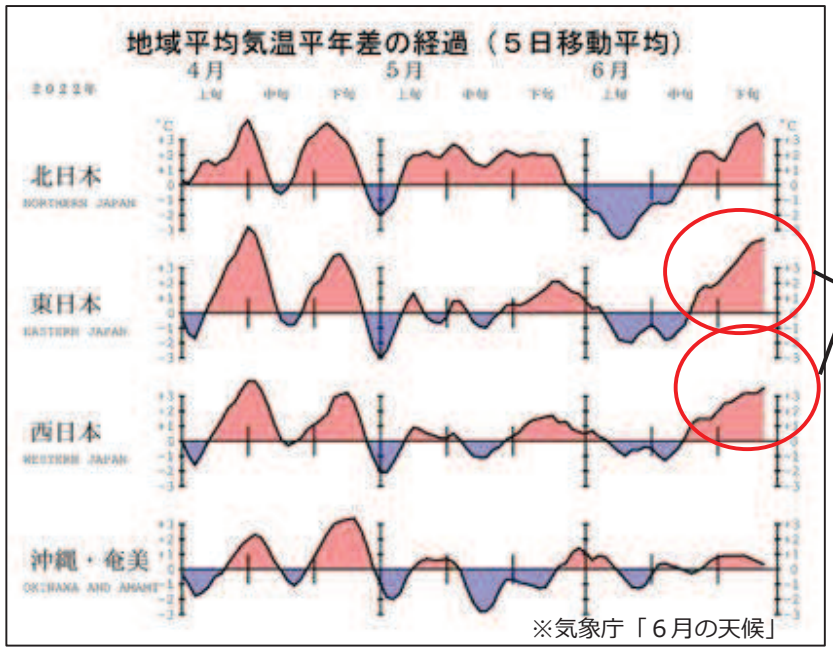
※気象庁HPより作成

◆ 6月末から熱中症警戒アラートが多発



※環境省HP

◆ 6月下旬の高温（観測史上１位）



※気象庁「６月の天候」

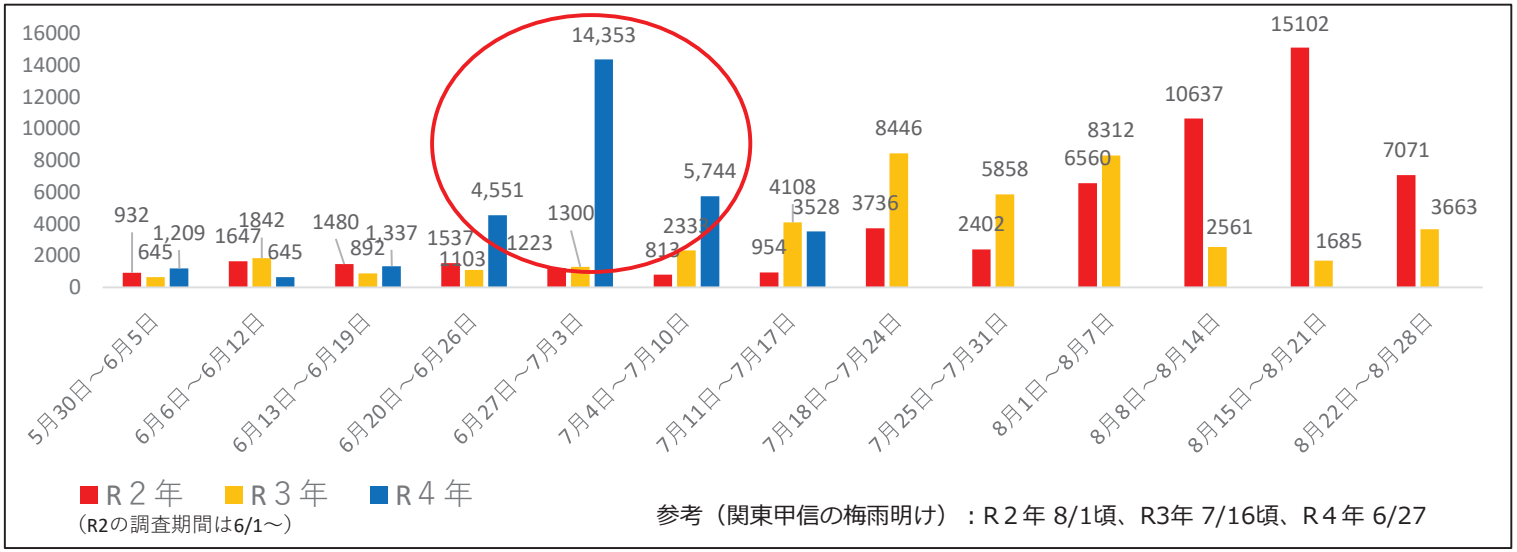
・６月下旬の平年差は**東日本**で、**＋4.0℃、西日本で＋3.2℃、1946年統計開始以降、６月下旬の１位の高温**となった。

令和４年夏の救急搬送等状況

環境省

令和２年～令和４年　熱中症による救急搬送状況比較

救急搬送者の急増（６月27日週は、前年同週の約10倍）



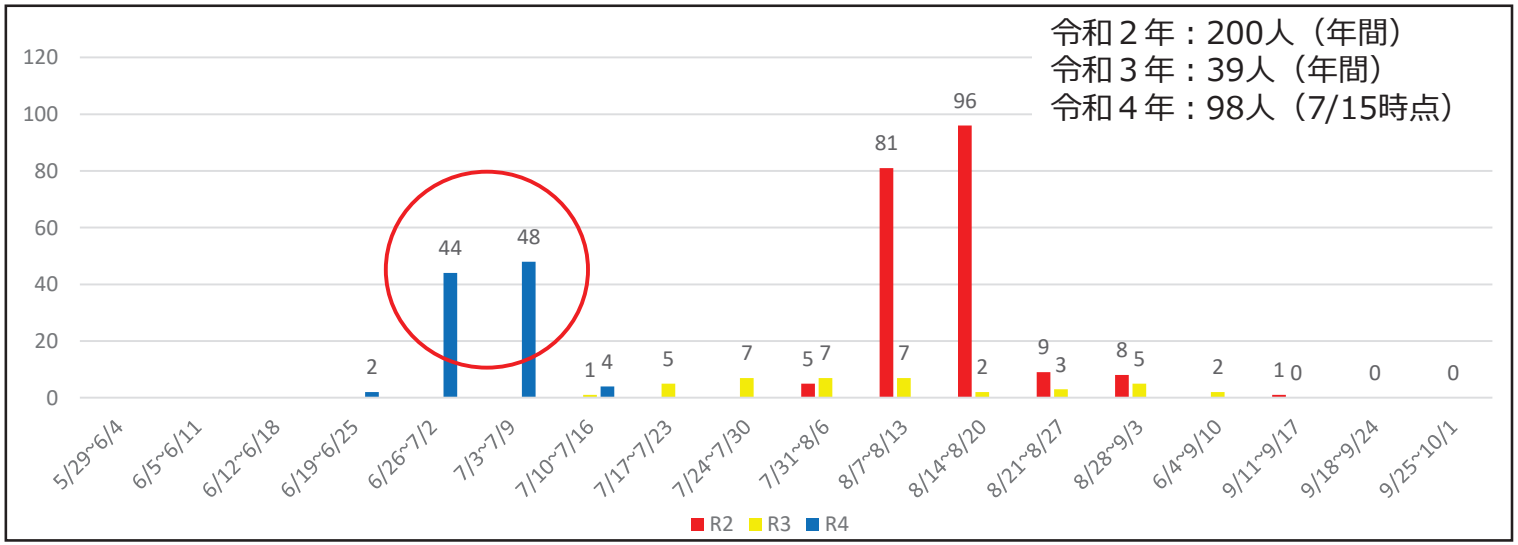
参考（関東甲信の梅雨明け）：R２年 8/1頃、R3年 7/16頃、R４年 6/27

※消防庁資料から作成
（日付は一部修正）

令和２年～令和４年　熱中症による死亡者の状況
（東京都23区における死体検案速報値）

※東京都監察医務院のデータを元に、環境省作成

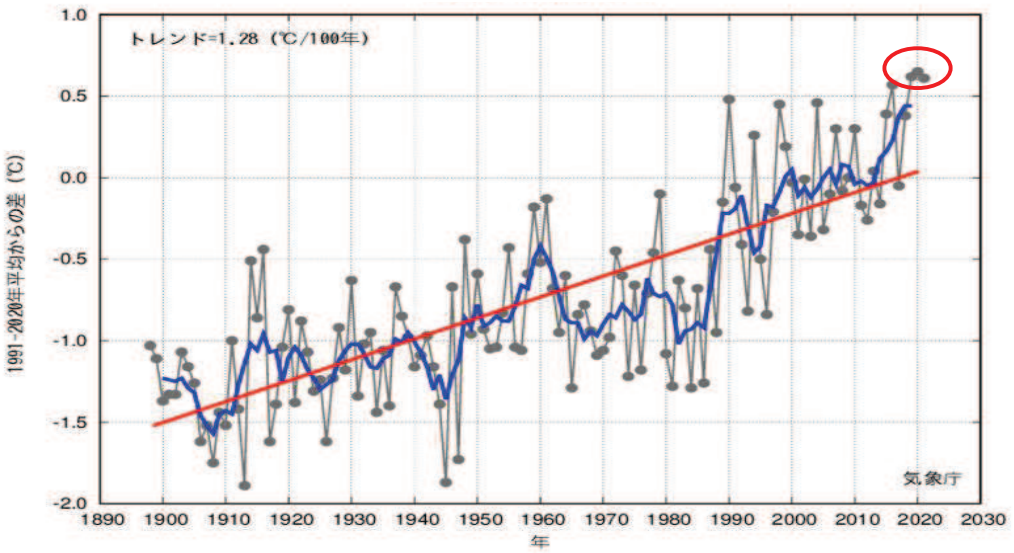
死亡者の急増（既に昨年の２倍超（東京都23区））



（参考①）地球温暖化に伴う熱中症被害の増加

環境省

【温暖化に伴う気温の上昇】



細線（黒）：各年の平均気温の基準値からの偏差、太線（青）：偏差の5年移動平均値、直線（赤）：長期変化傾向。
基準値は1991～2020年の30年平均値。

◆ 国内における年平均気温は100年あたり1.28℃の割合で上昇。
◆ 令和３年の国内平均気温は令和２年、令和元年に次いで過去３番目に高い値。
⇒直近３年が最も高い。

【猛暑日の増加】

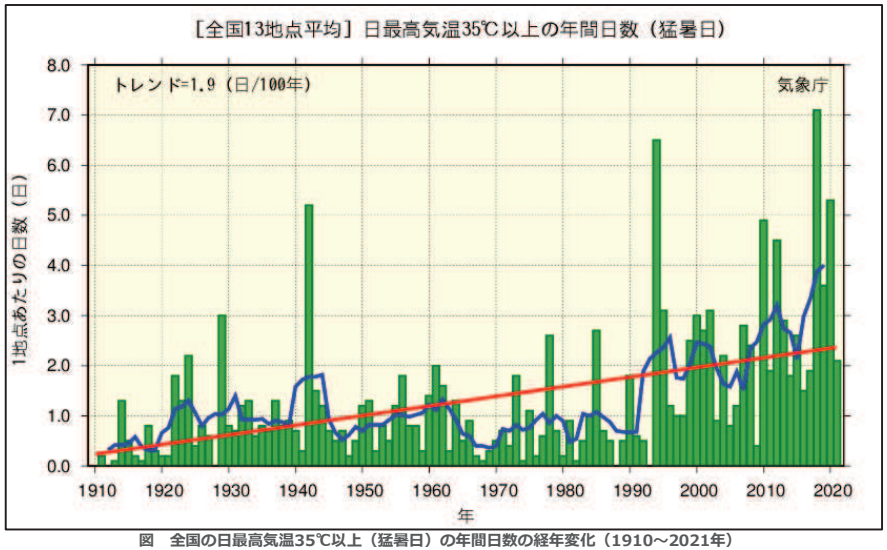


図　全国の日最高気温35℃以上（猛暑日）の年間日数の経年変化（1910～2021年）
棒グラフ（緑）は各年の年間日数を示す（全国13地点における平均で1地点あたりの値）。太線（青）は5年移動平均値、直線（赤）は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。

◆ 特に1990年代以降、猛暑日の日数が増加

【参考：世界における異常気象】
-2021年６月　カナダの熱波-

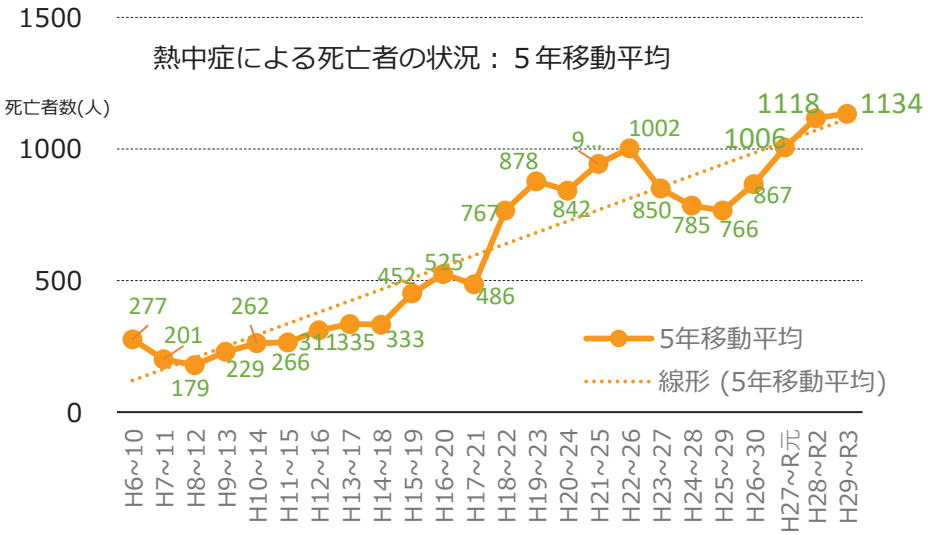
【発生地域】カナダ（ブリティッシュ・コロンビア州）
【発生時期】2021年6月25日～7月1日
【最高気温】49.6度を記録（6月29日 リットン村※）
※ 北緯50度13分52秒 （札幌市:北緯43度3分43秒）
6月の平均最高気温（1981–2010年）24.3 度
出典： Environment Canada
【死亡者数】熱波発生時期１週間※の熱中症による死亡者数 526人
※ 2021年６月25日～2021年７月1日
（人口１万人あたり１人以上死亡）

（環境省資料より）

（参考②）地球温暖化に伴う熱中症被害の増加

環境省

【熱中症死亡者は増加傾向】



（※環境省資料）

【自然災害及び熱中症による死者数】

	自然災害（※１）	熱中症（※２）
平成29年	129人	635人
平成30年	444人	1581人
令和元年	155人	1224人
令和２年	119人	1528人
令和３年	186人	750人

（直近５年）

※１　令和４年度防災白書より
※２　人口動態統計（令和３年は概数）より

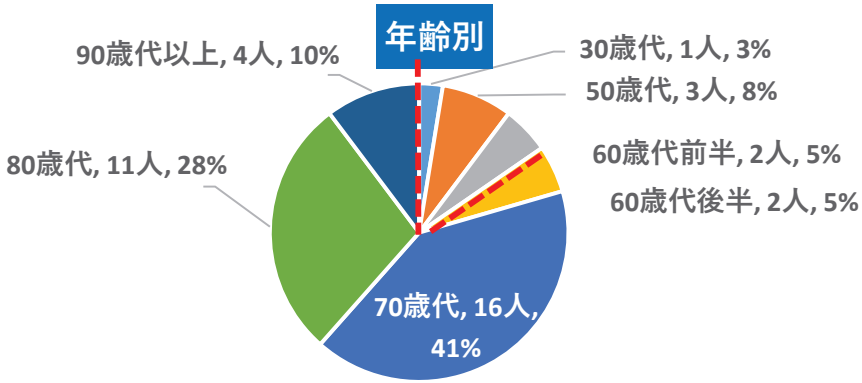
【エアコン利用が命に直結】

令和３年夏における熱中症死亡者の状況

○令和３年10月31日検案時点までの**東京都23区**における熱中症による死亡者**39人**
（東京都監察医務院の死体検案の速報値）

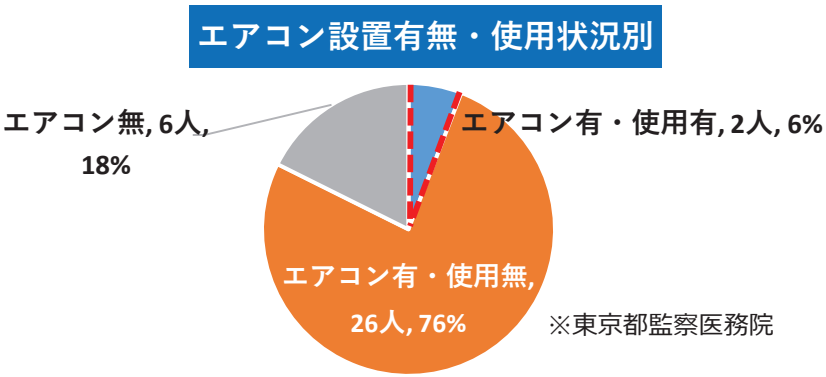
計39人（速報値）のうち

- **８割以上は65歳以上の高齢者**



屋内での死亡者のうち

- **約９割はエアコンを使用していなかった**



※東京都監察医務院